竹原 亞生

質問

国道・県道の改良促進は

道路設備計画について

町 町長自らトップセールスを行う

問 国・県道の整備が遅れている。歴代町長はトップセールスを行っていたのか。

答 県土整備委員会には、要望活動を行っていた。現町政になり、国土交通省への単独要望を実施している。

問 筒地・上黒磯間に計画中の、新しい橋の進捗状況は。

答 現在設計段階で、完成まで10年くらいかかる。

問 新しい橋が那須町に与える効果は。

答 晩翠橋の混雑緩和、那須塩原との往来促進、土地価格の上昇、住宅建築、移住者の増加が期待できる。

問 橋の計画に合わせた移住促進の施策は。

答 現在、那須塩原市への転出超過となっており、暮らしへの施策、宅地分譲、住宅施策を推進する。

問 那須町発展のため橋の完成を早める取り組みは。

答 早期完成の要望をするだけでなく、大田原土木事務所（事業主体）と連絡を密にし、町として積極的に協力していく。

黒磯那須北線計画

質問

総合窓口への取り組みは

窓口業務について

町 ワンストップサービスに取り組んでいる

問 住民生活課の窓口業務民間委託の実施状況は。

答 丁寧な申請書の記載補助、支援ができている。

問 利用者へのサービス向上の取り組みは。

答 手続きをする際、必要に応じ、福祉・税務などの担当者が出向く、職員出張方式によるワンストップサービスに取り組んでいる。

問 今後窓口業務の民間委託を進めるにあたって、福祉関連や税務関連の総合窓口化を考えているか。

答 検討段階だが、総合窓口化に関しては、ワンストップサービスを行っていく中で、申請書を書く手間を省く改善から進めたい。

問 受付やデータ入力などの定型業務は、課をまたぎ横断的に民間委託し、専門的業務等は、各課の担当職員が行う、コンパクトな総合窓口化の考えは。

答 町の人口規模、繁忙期の状況を精査し、町に合ったコンパクトな行革ができないか、検討したい。

住民生活課窓口

※「放射能対策について」「固定資産税について」「学校教育について」などの質問もされています。